



# 関中央ロータリークラブ

## 2017-2018 WEEKLY REPORT

**例会日** 毎週木曜日 18時30分

**例会場** 関観光ホテル（関市池尻91-2）

**事務局** 関市西本郷通5-2-53 TEL(0575)24-7332 FAX(0575)23-5278

**会長** 波多野 好文 **副会長** 佐藤 忍 **幹事** 長谷川 修 **クラブ会報委員長** 大藪 太

2017～2018年度国際ロータリー

イアン H.S. ライズリー会長



2017～2018年度関中央ロータリークラブ会長テーマ

### 「親睦からのロータリー」

本日のプログラム 第1909回例会 2017年8月14日（月）

早朝例会（花火大会後の清掃） / 担当 社会奉仕委員会

#### 前例会の記録

第1908回 2017年8月3日（木）

会員卓話 喜久生明男会員

テーマ 「私の履歴書」 / 担当 会場監督

\*国歌「君が代」斉唱

\*ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

\*R情報委員会 古田委員長「四つのテスト」唱和

\*関青年会議所 小島弘記様より例会のご案内

\*会長あいさつ 波多野好文会長

最近世間をさわがせているのが、ヒアリです。原産は南米で日本へは中国から貨物船で入ってきたようです。台湾・オーストラリア・アメリカはもう住み着いていて、完全な駆除は困難のようです。刺されると、やけどしたような痛みがあり、最悪死亡するというやっかいなアリです。一刻も早く根絶を望みたいと思います。



この特定外来生物は、文字通り日本にやってきた外来種ということで、カミツキガメ・名古屋城の堀にいたアリゲーターガー・アライグマ・ヌートリア・マンダース・タイワンリス等、ペットとして飼われ

ていたものが繁殖したものばかりです。ブラックバスはもう全国の池や湖にいて、根絶は困難です。2000種もの外来種が入ってきているとのこと。その他、特定外来植物というものもあり、オオイキンケイギクはこのあたりにも、はえていて、黄色いきれいな花ですが、生命力が強く日本の固有種を脅かす存在ということで、根絶が必要です。

又、日本から出て行った種もあります。ニホンシカ・コイ・金魚・ゴマダラカミキリ・マイマイガ・マメコガネ等があり、特にマメコガネはジャパニーズビートルとって恐れられています。日本から輸出されたアヤメの球根についていて、天敵の少ない北アメリカで繁殖しました。最近ヨーロッパのスイスへも温暖化の影響で入っているようです。植物では、アケビ・イタドリ・ススキ・クズ・ワカメ等があり・特にイタドリは鑑賞用として輸入されたヨーロッパでは舗装やコンクリートを突き破る等の被害が出ています。又、ワカメを食べるのは日本で、ぬるぬるしてきもちわるいと、嫌われています。

最近動物や植物の検疫がしっかりしてきているので、外来種の侵入は少なくなっています。そ

れにしてもヒアリだけはなんとか、根絶したいものです。

#### \*会員卓話 喜久生明男会員

##### テーマ 「私の履歴書」

病気の話をしようと思いましたが、会員相互理解という名目で、自身の履歴書というタイトルでお話したい。本日は愛媛県の地名が出てきます。見慣れない地域ですが、地図にて位置関係を知って頂きたい。昭和21年12月、愛媛県宇和島市出身の父：春馬と愛媛県伊方町出身の母：久満子の第3子、長男として父の勤務先の佐賀県東松浦郡岩屋の炭鉱にて生まれる。父の勤務地が愛媛県北宇和郡戸島の診療所に移り、戸島小学校入学。所が、父が肺結核で、松山市郊外の結核療養所に入所したため、戸島から宇和島市の父の実家に移転し、1年生の2学期から宇和島市の明倫小学校、3学期からは和霊小学校へと転校した。父は結核からの復帰し、愛媛県八幡浜市大島の診療所勤めとなり、姉二人と私は松山市へ転居し、5年生の2学期から松山市立東雲小学校へ転校し、同小学校を卒業した。中学校は愛媛大学付属中学校へ9倍の倍率を越えて合格した。父の影響を受けて、子供の頃から野球に親しみ、中学では野球部に所属し、4番キャッチャー、生徒会では副委員長、新聞部長にて中学生生活を満喫した。そして松山東高へ進学し、野球部からの誘いを受け、大好きな野球を体験入学するも、帰宅が21時。夕食すませて、道後温泉から帰ると、23時。眠くて、勉強など出来るはずがないと、高校野球を諦めた。しかし、スポーツ好きには何かをやりたいと思い、練習時間は2時間のラグビー部に入部した。松山城はラグビーの合宿で、ダッシュで何度でも繰り返して麓から走って登った苦しい思い出がある。愛媛県ではラグビーは2位の位置にあったが、全国大会への出場はなかった。頼まれると嫌と言えない私は生徒会長までやってしまった。学業では3番で入学し、2年生で300番まで下がって、卒業時には30番まで復活し、現役で国立大学医学部（岐阜大）に合格した時にはラグビーの顧問の先生からよくやったと言われた。毎日、道後温泉（本館）が我が家の風呂場であった



（下宿していた叔母の家には風呂は無い～道後区民はこれが当たり前であった）。カラコロと下駄を鳴らして365日、道後温泉に通っていた、当たり前の事が今となっては、貴重な生活体験となっている。

岐阜大学医学部へ入学（60名定員：岐阜県出身8名、四国出身9名、その他全国各地から）すると、躊躇なく野球部へ入部した。当時の岐阜大は2期校と言われ、2期校で医学部のある国立大学は全国で7校しかなかった。日本の中心地の岐阜を選んだ結果が、現在に続いている。6年間の野球生活では1年目の春からショートでデビューし、首位打者0.500となった。2年生～5年生は捕手。6年生はエース不在にて、コントロールと肩の良さから投手を務めた。東海地区では無敵であった。京大とは春秋に定期戦、金沢大、神戸大とも定期戦をやっていた。医師になってからもこれらの人脈で助けられた。野球以外には岐阜大の穂高の夏の診療所に4年生以後～医師となってからもほぼ毎年登った。穂高山頂付近での約1週間滞在は俗界を忘れ、自然の美しさと驚異を知らされる貴重な体験を得ることができ、人も地球の一部に過ぎないことを思い知ることができた。岐阜に来て100cm以上の積雪を初めて経験し、生まれて初めてスキーをやった。

卒業後は国試に合格し、スポーツに関連が深い、整形外科を当然のごとく選び、2年間の大学での研修医（給与は看護師の1/4程度であったが、それまでの無給のインターン制度よりは良かった）を終えて、初めての赴任したのが高山赤十字病院であった。1年で30日のスキー体験は初心者レベルから上級者コースを滑れるまでに上達した。さてこれからと言う時に、突然、米国Pittsburgh大学整形外科への留学が決まった。Pittでは骨腫瘍、靭帯損傷、骨折治癒過程の研究、股関節表面の圧力分布、軟骨細胞培養などの研究を手がけ、時にファーガソン教授の人工股関節置換術の手術に入らせていただいた。当時（42年前）でも、人工関節の手術が切り始めてから閉じ終わるまでに僅か30分という驚異の速さであった。速いと出血も少なく、輸血の必要もなく、創感染も少ない。私も手術は上手いと思っているが、60分以内で人工関節手術を終えることはできな

った。2年間の留学生活ではPittの当たり年でもあった。野球のパイレーツはワールドシリーズで優勝し、アメリカンフットボールのスティールーズはスーパーボウルを制覇、更に、Pitt大学のフットボールチーム：Pittパンサーズも大学No.1となった。そして、アメリカ建国200年記念の年でもあった。リサーチフェローとしての給与は月1000ドル（2年目1200ドル）であった。1ドル300円の為替レートの時代であり、結構な給与と思っていた。当時の秘書さんの給与は月に700～800ドル、名のある教授はレジデントの100倍以上であった。Pittではスポーツ医学との出会いでもあった。

2年間の留学を終えて帰国し、岐阜県立整肢学園2年、岐阜市民病院3年、県立岐阜病院10年（現在の岐阜県総合医療センター）、岐阜大学病院6年と渡り歩いた（教授の一言で勤務地が決まる）。すべての勤務先では病院の野球チーム、スキーにテニス同好会に所属して、色々な部署の人達と友情を深めた。県立岐阜病院時代には岐阜県職員野球大会で優勝した。この頃に県体協の推薦でスポーツドクターとなり、また、日本ホッケー協会のチームドクターとなり、海外遠征の帯同ドクターや日本で開催する国際大会でのドーピング検査官としてホッケー界との繋がりができ、アテネオリンピックへと続くこととなった。

教授となるために10年務めた県立岐阜病院整形外科部長から大学に講師として帰学し、教育、研究、治療に携わった。その間には日本整形外科学会の代表（若手4名）として、メキシコ整形外科学会の招待で40日間、メキシコ各地で講演した。時には手術が設定されており、びっくりすることもあったが、名所旧跡へも連れて行ってくれた。当時のメキシコではMRIが国内に2～3箇所しかなく、MRIの施設訪問では意地悪な質問がされることが多かったが、日本では既にかかなりの普及があり、当然の如く回答できて、驚いてくれた。私の講演の演題の一つは乳幼児股関節脱臼のMRIによる経過観察であったのだ。メキシコでは日本人は唯一、白人に勝った有色人（日露戦争）として、一目置かれていた。平成8年3月に教授選に出ることなく、大学を辞し

てからは、現在の所で開業し、皆さんの仲間に入れていただいた。海外留学、勤務医、大学、開業医と色々な場所で豊富な経験ができたことは幸せだと思っている。スポーツと医学を感じながら子供の頃から成長してきた。スポーツ界への恩返しの気持ちは大きく、現在の姿があるのだと思っている。

2020東京オリンピック、パラリンピックを迎えるに当たり、日本の若者達が世界に模範を示してくれるよう、子供達の育成に手を差し伸べることも我々ロータリアンの目標だと思う。

105歳まで現役の医師として活躍した、日野原重明さんのメッセージ「命とは、一人一人が持つ大切な時間。自分の持っている時間を誰かのために使ってほしい」。我々ロータリーの活動目標そのものだと思う。

#### \*出席委員会

会員数31名、本日の出席23名です。

#### \*ニコボックス委員会

・伊佐地金嗣ガバナー補佐  
バカンスで明日より一週間フランスへ行ってきます。よろしく。

・会長・副会長・幹事

本日のプログラムは会員卓話です。喜久生明男会員宜しくお祈いします。

・石原妙生君

先週日曜日はめでたく60才になりました。毎年恒例のウナギを食べることができ良かったです。

・高井良祐君

先週は家内と二人で富士山のふもとでキャンプをしました。テントを張り、飯盒でご飯を炊き、炭火で肉を焼き、ビールを飲んで涼しくて最高でした。

・喜久生明男君

7月には妻の誕生日に美味しいプレゼントをありがとうございました。又、今日は皆さんのお耳をわずらわせますが、よろしく。

・古田博文君

喜久生会員、本日の卓話宜しくお祈いします。

・小澤重忠君

喜久生先生の卓話拝聴楽しみにしております。

23名のご投函ありがとうございました。

#### \*その他の委員会報告

・社会奉仕委員長 川上勉委員長

8月14日早朝例会 集合時間変更のご案内

**\*幹事報告**

・例会終了後、理事・役員会を行います。

**\*メイクアップ報告**

7/28 会長・幹事慰労会 石原妙生君

7/29 岐阜AグループIM 伊佐地金嗣君

**<次例会の案内>**

第1910回 2017年8月22日(火)

「ガバナー公式訪問」3RC合同例会

(美濃・関・関中央) 担当：会長・幹事